

2021. 9. 24<計1枚>

報道関係各位

立命館大学広報課

580人の学部生・大学院生が卒業

2021年度秋季 立命館大学卒業式・大学院学位授与式を挙行了しました

立命館大学は、9月23日(木)、2021年度秋季卒業式・学位授与式を挙行了しました。学部生・大学院生合わせて580人(学部生456人、大学院生124人、9月17日時点)が、この日、卒業しました。

今回の式典は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底の上、出席者を卒業生・修了生に限定し、大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)で執り行いました。また、キャンパスに出席できない卒業生・修了生や、保護者・ご家族・ご友人等の皆様、在学生に向けて、式典の映像をインターネットで同時配信しました。

仲谷善雄学長は卒業生・修了生に向けて、「不確実な、予測困難な時代であるからこそ、失敗を恐れず、新たなことに勇気を持って挑戦してください。不確実さはチャンスでもあります。挑戦し続けてください。自由な挑戦こそが、世界の未来を創造し、皆さんの輝かしい人生を切り拓いてくれると信じています」と饒の言葉を贈りました。

卒業生代表挨拶を行った法学部の高橋彩音さんは、「民法ゼミでは、ディベート形式の講義を重ねることで、自分の意見に明確な法的根拠を示すことの重要性を学びました。法学部の学びからは、主要な法律の知識だけでなく、条文や判例を読み取る力や、論理的思考力を身に付けることができました。卒業後は、「誰もが幸せに暮らすことのできる街を造る」という夢の実現に向け、不動産業界で活躍したいです」と述べました。



また、修了生代表挨拶では、ベトナム出身の留学生で情報理工学研究科のグエン ゴック ハイさんが、スピーチを行いました。グエンさんは、「ベトナムのような開発途上国が諸大国の栄光に近づけるかどうかは、若い世代の教育にかかっています。日本には世界水準の教育システムがあり、世界中の多くの学生が日本の優れた文化を学び、経験したいと考えています。私はこの国で学び、暮らす機会が得られたことを幸せに思っています」と述べ、「27歳だった私にとって、仕事を辞め、大学院で研究を始めるという選択にはとても勇気がいりました。しかし、夢を追いかけることに年を取りすぎているということは決してありません。今では、私の人生で最良の決断の1つであったと自信を持って言えます。ここで私は素晴らしい教授陣から学んだだけでなく、生涯の友情を築くことができました」と、これまでの研究の日々を振り返りました。

式典終了後は、学部・研究科ごとに卒業生・修了生一人ひとりに卒業証書・学位記を授与しました。

式典の様子(アーカイブ動画)は、下記よりご覧いただけます。【2021年10月31日(日)まで】
<https://www.youtube.com/watch?v=TvLw9R5Au2Y>

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:桜井・遠藤 TEL.075-813-8300 ・ 080-8517-1493